

## 活動助成（2010 年度募集）活動実績報告書

団体名	頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会 京都支部
活動テーマ	高次脳機能障害者とその家族を支える活動



高次脳機能障害の為に記憶障害や社会的行動障害等で対人関係が上手くいかず、社会から孤立している当事者の社会復帰への支援や、その家族の介護負担を軽くするためのヒントや、各自が現在抱えている課題を高次脳機能障害の専門家との質疑応答でピンポイントに解決するとともに、参加者と講師とのやりとりを参考にして、日々の介護の改善を図る事を目的に企画しました。

講演会の企画にあたっては、多人数で一方的に聴くだけの大会場型式ではなく、講演時間の半分以上を対話に当て、対話の良さを生かすことを考えました。また、会場の選定にあたっては、量（人数）よりも質（成果）を重視し、障害により家に閉じこもりがちの方が気軽に参加しやすいように、静かな雰囲気のある会場を選定しました。

最終的には、少人数制で実施回数を多くして利便性と内容を高め、誰でも気軽に質問できる講演会を3回実施しました。

全3回の講演会に、延べ70人以上が参加しましたが、参加者の居住地は地元京都だけでなく近畿一円に及び、高次脳機能障害の専門家との「対話」を求めている人が多い事が明らかになりました。今回の講演会により、当事者とその家族が抱える諸問題の解決又は軽減に役立ったと考えています。

京都府の資料によれば、京都府内には約17,000人の高次脳機能障害者が存在するとのことですが、今回の講演会は、その大半を占める在宅介護者の負担軽減や当事者の社会復帰に大変役立つ、「共同受診」ともなるものだと考えています。今後もこのような草の根活動を続けたいと思います。